

屋内活動

プログラム名	キャンドルセレモニー			
概要	仲間とキャンドルの火を囲み、火の大切さを学ぶ。スタンツやゲーム等を通して絆を深め、心の交流を深める。			
ねらい	友と語り、友を知り、自分を知ることができる。火を通して、火の偉大さ、強さ、激しさ、温かさを再認識することができる。スタンツ等のグループ活動を通して、仲間意識を養うことができる。			
条件	対象	全年齢	人数（指導者人数）	～200人（2人以上）
	活動目安時間	90分～120分	活動時期	通年
	活動場所	体育館・研修室1	費用	不要
	下見	要	活動名簿提出	不要
持ち物・準備	（個人）飲料 （団体）小ろうそく、スタンツに必要なもの （貸出）衣装（3人分）、うちわ・杖、アンプ、CDラジカセ、延長コード、チャッカマン、大ろうそく、ろうそく受け（大）（小）			
安全上の留意点 （対策方法）	火傷（ろうそくの扱いについて事前指導を徹底、衣装に火が燃え移らないように注意） 暗闇での転倒、接触（シートの上で走らない） スタンツ中のケガ（シートを敷いていることを考慮し、無理なスタンツ構成をしない） 運搬時のケガ（声をかけながら運ぶ、必ず状況を監視する） 燭台・ろうそく立ての金具でのケガ（運搬時・片付け時の注意を徹底、人に向けない） 火災（ろうそくの扱いについて事前指導を徹底、消火方法の確認を徹底、燭台は必ず台の中央に置く）			
<b>活動内容（手順）</b>				
事前①指導者配置：活動指導（準備、進行、火の神などの役割分担決定）、巡視指導（活動中の研修生の補助や指導・助言） ファイヤーキーパー（活動に応じて燭台を移動）、準備/片付け（当日準備/備品の返却、消火、シート片付け） ②下見の実施：研修生の動線及び活動場所の確認 ③実施方法の決定：第1部から第3部までの流れや休憩時間、全員で合唱する歌などの決定（進行の不明点などは要相談） ④グループ編成：活動内容に応じて、スタンツを行うグループ等編成 ⑤研修生への事前指導：「概要」「ねらい」「留意点」等の指導、持ち物の確認、火の扱い方の指導				
活動前①打合せ：16:00頃、事務室前で、所員と団体責任者、担当指導者にて実施 実施判断：気象を基に、協議の上決定 確認事項：人数、健康状態、貸出備品 備品をすべて持って体育館または研修室1へ移動 ②準備：活動場所にシートを敷く、コンセントの位置、消火器の使用方法を所員とともに確認 片付けの説明：消火方法、道具類・シートの片付け、貸出備品の返却について所員とともに確認				
活動①活動場所へ移動 ②活動開始：第1部→第2部→第3部 ③確認事項：人数、健康状態 ④本館へ戻る ⑤報告：本館に戻った指導者は、所員へ活動終了、研修生の健康状態を報告 ⑥片付け（片付け担当）：活動場所のシート、備品の片付け、貸出備品の返却と確認				

<その他>

※スタンツは、キャンプファイヤーのものと併用可。ただし、走る等の動作があるものは変更

- ・小ろうそくは5cm程度のを準備（研修生用）
- ・当日の準備（活動前①②）は研修生のキャンドルセレモニー係も指導者とともに参加